

研究分野	受験番号	

設問 1 - 1 図版群



図 ①



図 ②



図 ③

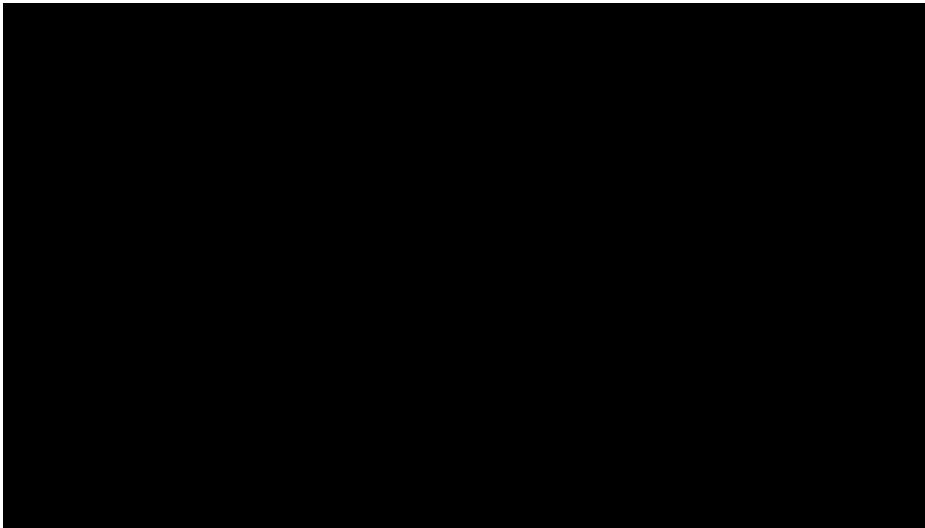


図 ④

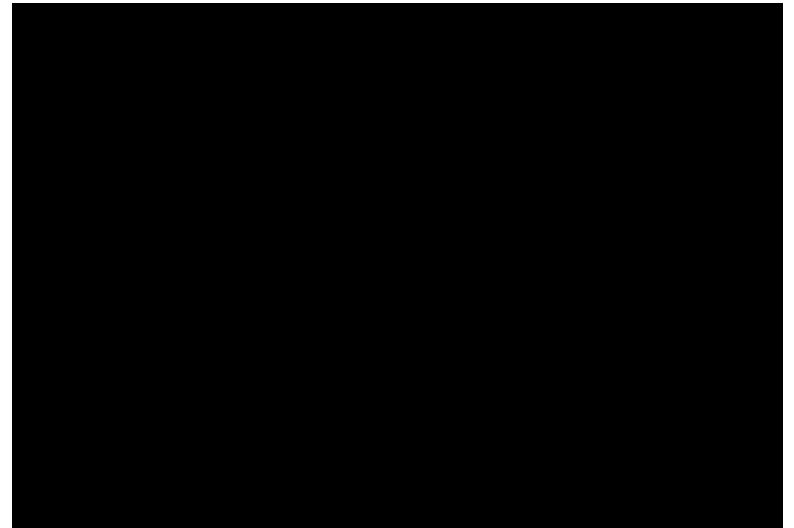


図 ⑤

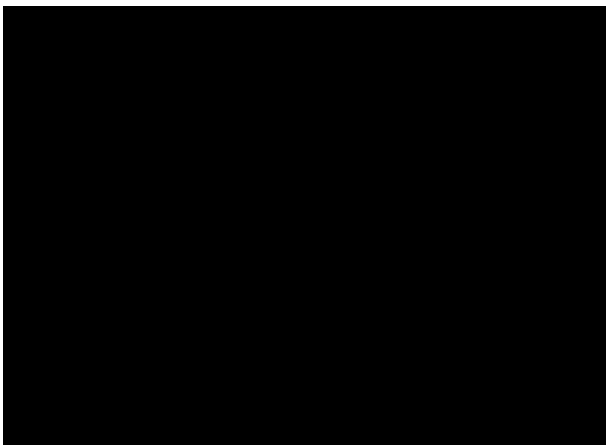


図 ⑥

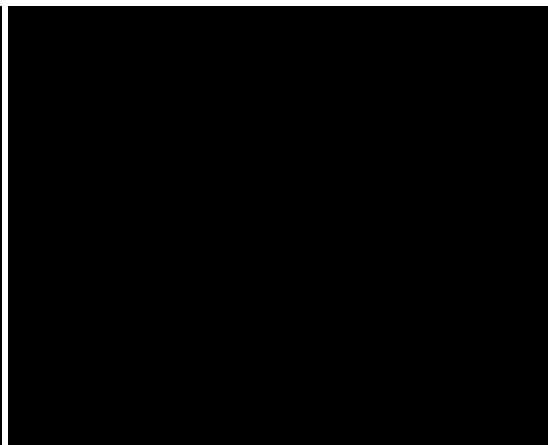


図 ⑦

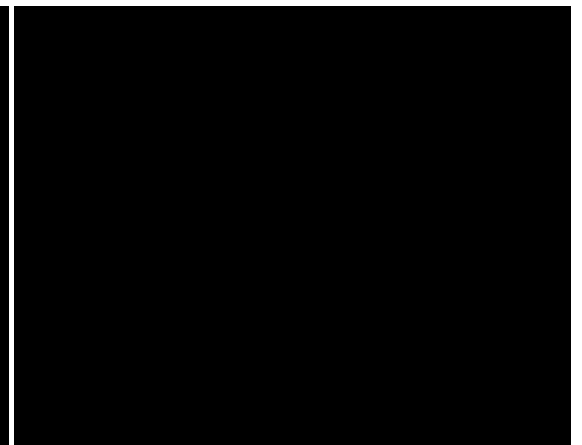


図 ⑧

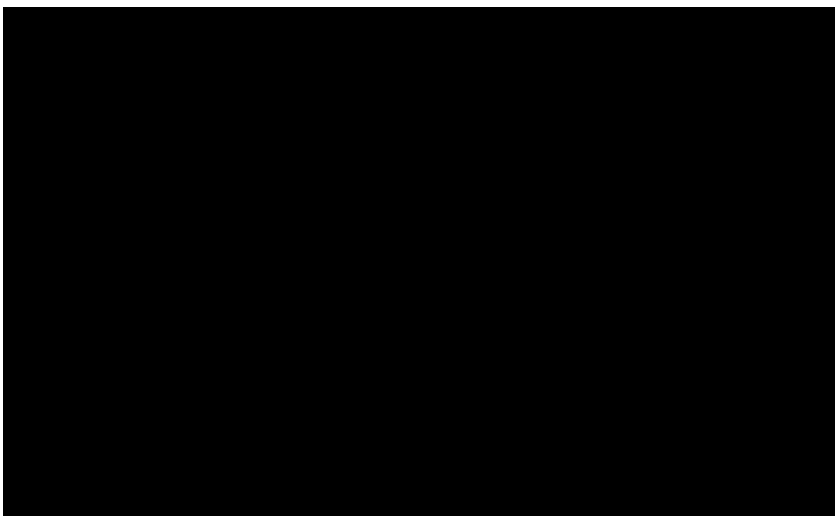


図 ⑨

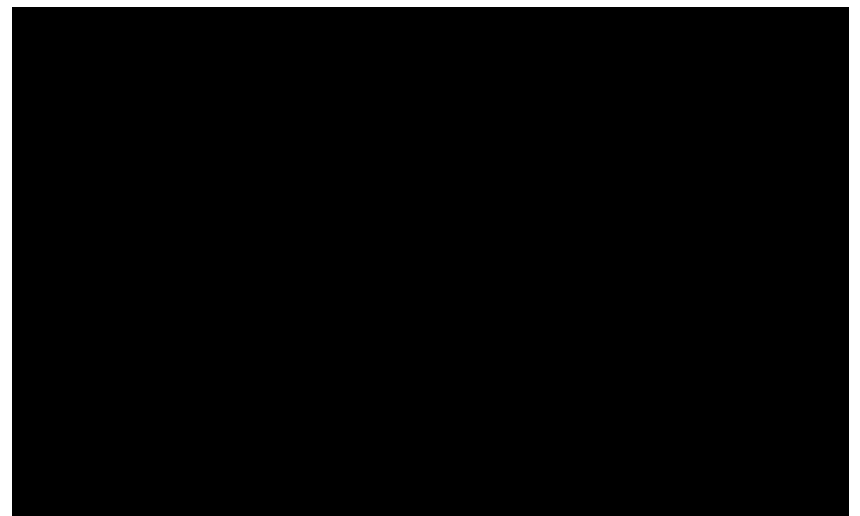


図 ⑩

設問 1 - 1 建築名称群

- | | | | |
|---------------|--------------|------------|--------------|
| • 弘前城天守閣 | • 神奈川県立近代美術館 | • 大阪市中心公会堂 | • 木曾奈良井宿の町並 |
| • 妙喜庵待庵 | • 寺内町今井の町並 | • 長野善光寺本堂 | • 出羽田代高八方造農家 |
| • 東大寺金堂（大仏殿） | • 吉田五十八自邸 | • 京都御所清涼殿 | • 水戸芸術館 |
| • 如庵 | • 東京日比谷公会堂 | • 大嘗宮正殿 | • 土浦亀城自邸 |
| • 飛騨白川郷の合掌造農家 | • 平城宮東院 | • 毛越寺庭園 | • 松本城天守閣 |

研究分野	受験番号	

設問 1 - 1 別紙「図版群」の①～⑩について、以下の問いに答えなさい。

- ・ 名称を「建築名称群」から選び「欄Ⅰ」に記入しなさい。
- ・ 建設時期（〇〇時代ないしは〇世紀）と主な特徴を「欄Ⅱ」で説明しなさい。

	欄Ⅰ	欄Ⅱ
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

設問 1 - 2 以下の用語の中から3つを選択し、その意味を論じなさい。

- A群 : 組物 条坊制 禅宗様 扱首構造
 B群 : 式年遷宮 舗設 書院造 中廊下型住宅
 C群 : 看板建築 最小限住宅 51C型 メタボリズム

A群から選択した用語 :

B群から選択した用語 :

C群から選択した用語 :

研究分野	受験番号	

令和2年度 東京藝術大学大学院 美術研究科 建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問2

解答用紙にある、紀元後1000年から1700年までの時間軸に沿って、西洋建築史の流れを、様式と主要な建築作品をプロットすることによって示しなさい。

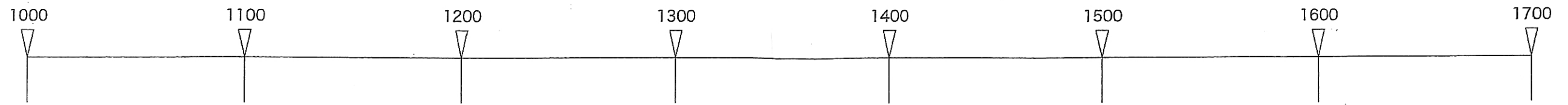
各建築作品には、建設年、設計・建設に関わった建築家、建設された都市（現在の名称）を付記すること。

また、全体として美しく見やすい年表になるよう配慮しなさい。

研究分野	受験番号	

令和02年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

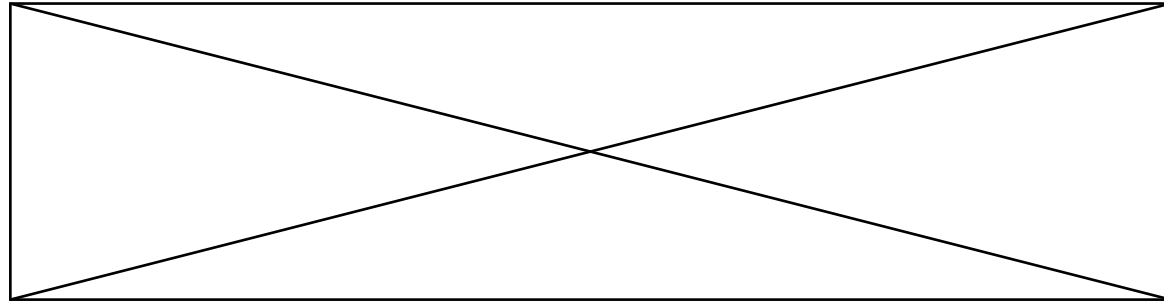
設問2 解答用紙



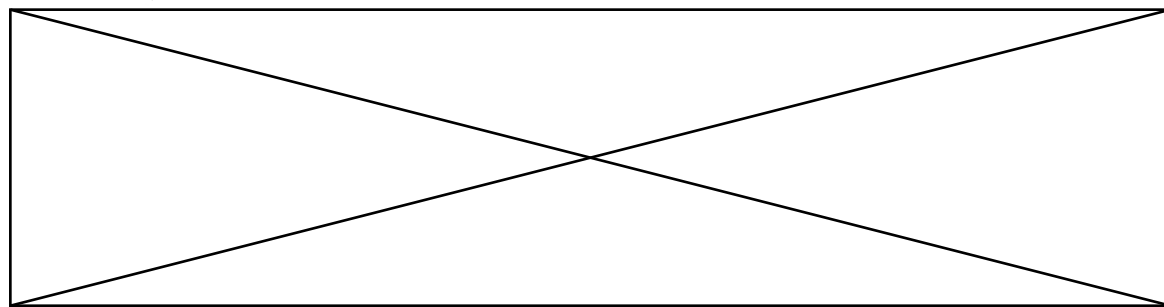
研究分野	受験番号

以下[1]から[5]を和訳しなさい。

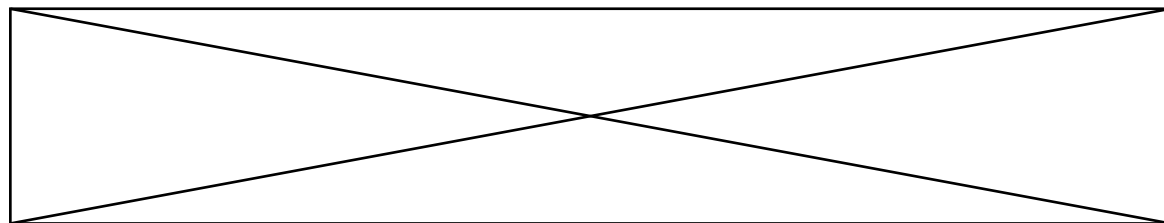
[1]



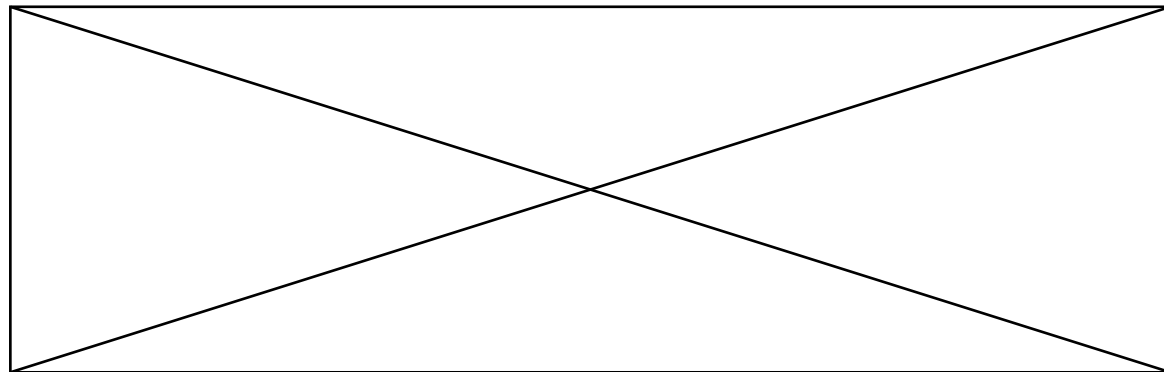
[2]



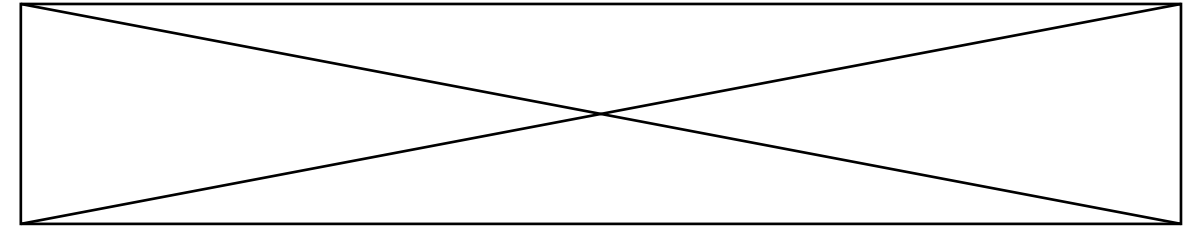
[3]



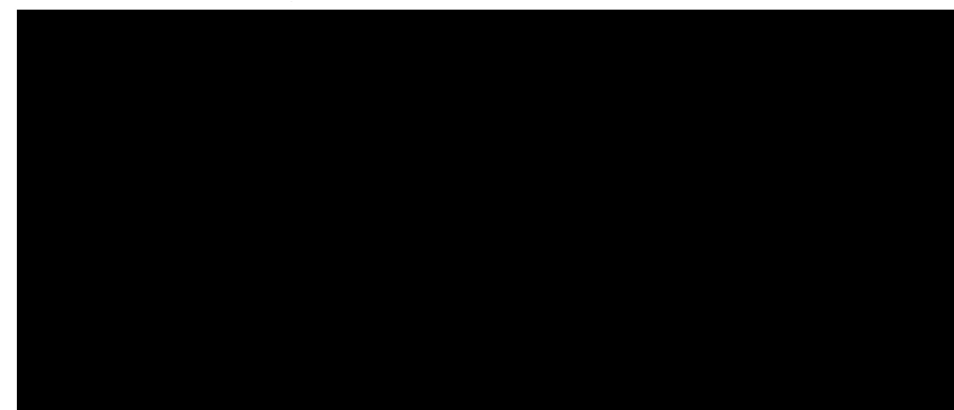
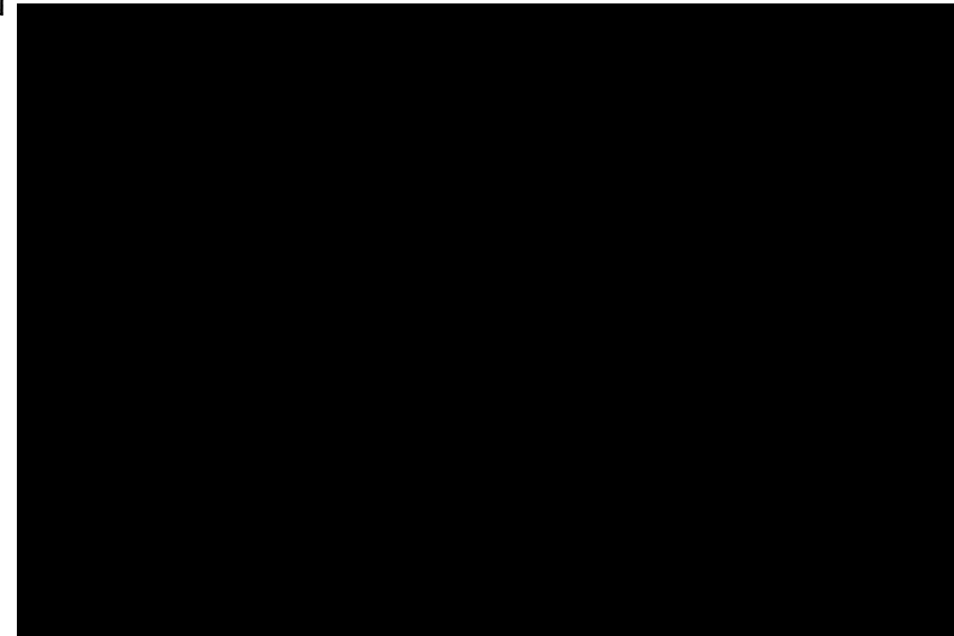
[4]



[5]



[関係付図]



研究分野	受験番号

[1]

[2]

[3]

[4]

[5]

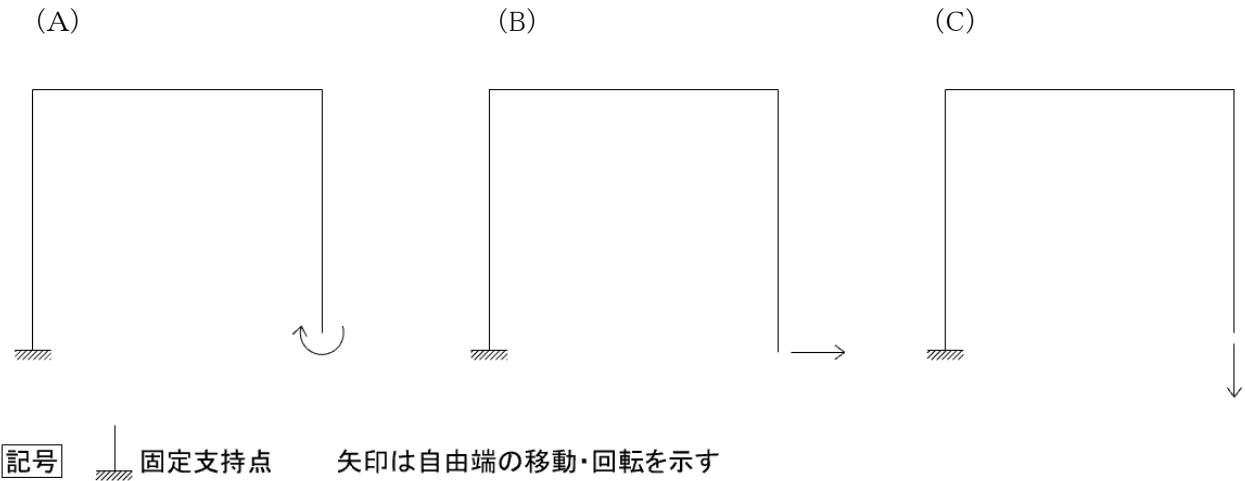
研究分野	受験番号	

令和2年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

[1] 架構の応力と変形

次の架構の応力図(N、Q、M)と変形図を求めよ。変形図には反曲点位置及び曲げ変形の方法を明記すること。

* 解答は、解答用紙一1に書くこと。



[2] 架構と構造用語

次の用語群(A)の用語を2つ以上自由に組み合わせ、以下の4つについて、その構造的長をダイアグラムと文章により説明せよ。用語は複数回使っても構わないものとする。

- (1) 香港上海銀行
- (2) 東京カテドラル
- (3) 東大寺南大門
- (4) 東京スカイツリー

用語群(A)

アーチ、トラス、ドーム、シェル、スペースフレーム、ラーメン構造、耐震、免震、吊り構造、木構造、膜構造、鉄骨造、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート、壁構造、ブレース、貫、ピン構造、風荷重、地震力、自重、積載荷重、カテナリー、組積造、剛性、強度、靱性、減衰、固有周期、含水率

* 解答は、解答用紙一2に書くこと。

研究分野	受験番号	

令和2年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]
 解答用紙—1

[1] 架構の応力と変形 (5点 x 12 = 60点)

	(A)	(B)	(C)
N図			
Q図			
M図			
変形図			

研究分野	受験番号	

令和2年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]
解答用紙—2

[2] 架構と構造力学用語 (10点 x 4 = 40点)

(1) 香港上海銀行

使用した用語:

(2) 東京カテドラル

使用した用語:

(3) 東大寺南大門

使用した用語:

(4) 東京スカイツリー

使用した用語:

研究分野	受験番号

令和2年度 東京藝術大学大学院 美術研究科 建築専攻 修士課程選抜試験 [設計実技試験]

9:00-17:00

【課題文】

とある大都市から3時間ほどで到着する無人駅。駅からさらにしばらく歩いたところに、素敵な一本の樹がありました。

高さ25メートルほど。単独で立つこの樹の佇まいに魅せられたひとりの哲学者が、ここに人々が集い、学ぶことのできる小さな学校を開く計画に着手します。

彼自身もこの場所に住み、集まってくる学生たちと彼の知識を分かち合う講義を開きます。

完成した学校はその樹とともに、樹が単体で存在していた時よりもいっそう魅力的な姿で、今そこにあります。

【課題】

上記課題文をもとに、以下の条件を満たす建築物を設計し、平面図、立面図、断面図、透視図、文章で解答用紙に描写せよ。ダイアグラム・アクソノメトリック図等を加えてもよい。

【条件】

- ・落葉樹、常緑樹の別など、樹種や樹形の設定は提案に含める。
- ・一度に20名が講義を受けることのできる屋内空間を設計に含めること。
- ・哲学者が一人で暮らすことのできる住居を設計に含めること。
- ・作られる建築と樹が、その関係の中で魅力的かつ多様な屋外空間を創出していること。
- ・エレベーター等のバリアフリーに関する条件は、この課題に限っては不問とする。
- ・学生5名が宿泊することのできるゲストルームを設計に含めること。
- ・駐車場は不要。往復や買い物は、全員が電車を利用するものとする。
- ・図面スケールは、複数の縮尺を組み合わせた表現も含めて自由とするが、必ず明記すること。
- ・提出用A1判ケント紙1枚にまとめること。縦横自由。着彩自由。

【配布物】

- ・問題用紙 1枚
- ・提出用A1判 ケント紙 1枚
- ・エスキス用A3判 普通紙 5枚
- ・エスキス用A2判 トレーシングペーパー 1枚
- ・着彩試し塗り用A2判 ケント紙 1枚